

① ひと自慢

1-1. 件数表(のべ件数)

「家族のどんなところが自慢ですか？」欄に非空記入がある行をカウント(紙は対応欄をキーワード一致で集計)。※同一回答者が複数テーマに記入していれば複数カウント=のべ件数。

カテゴリ	大人(WEB)	子ども	大人(紙)	合計	構成比
家族	80	120	6	206	35.8%
友人・仲間	73	104	1	178	31.0%
地域の人	8	19	2	29	5.0%
職場の人	3	6	1	10	1.7%
先生・恩師	31	45	1	77	13.4%
行政・NPO 等の職員	0	2	0	2	0.3%
活動・ 団体メンバー	13	18	6	37	6.4%
その他	5	29	2	36	6.3%

家族自慢は合計**206件(構成比35.8%)**で最頻(※ひと自慢トータル575件中)。具体的には「優しい／支え合う／料理が上手」「赤ちゃんの成長」といった声が多く見られました。

1-2. ピックアップ(面白い／感動系・各5件)

原文趣旨を損なわない範囲で最小整形／メール等は除外。

◆ 面白い(5)

- ・ 9か月の育休を取得した夫と協力子育て。「こんなに最高の家族、中々いないのでは?!と自慢げに街を歩いています。」
- ・ 家族旅行で他県の経験が増えた。「さまざまな経験をさせてくれる親に感謝」
- ・ きょうだい仲がよく、ものを壊しても怒らず慰めてくれる兄。
- ・ 「家族との時間が幸せ!夫も子どもも大好き!」というシンプルな実感。
- ・ 2歳から続けたピアノ学習、「音当てができるまでに」。

◆ 感動系(5)

- ・ 産後の奮闘を夫婦でシェア、「幸せすぎる毎日」のエピソード。
- ・ 「家族・友だちに支えられる幸せ。助け合える環境が自慢」
- ・ 親への感謝(学習や挑戦の伴走)。
- ・ 団らん・対話のある家庭文化(喧嘩しても戻れる関係)。
- ・ 健康的な生活習慣で若々しさ・行動力をキープ(家族の理解・支えも背景)。

1-3. 家族自慢のまとめ(要点)

- ・ 最頻テーマ:家族 206 件(全ひと自慢の 35.8%)。思いやり・支え合い・生活の丁寧さ・子の成長がキーワード。
 - ・ 子どもの記述は、家族の関係性が日々の挑戦・学びに波及していることを示す(例:習い事継続、頑張れる理由)。
 - ・ 家族を“誇れる”という実感が、自己肯定感と地域への愛着を強める土台になっている。
-

② コト(もの)自慢

2-1. 件数表(小項目別・のべ件数)

大人・子どもは各設問の非空、紙は《コト(もの)自慢①～③》のキーワード一致で小項目に分類(例:「資格」「経験」「夢」「目標」等)。

小項目	大人(WEB)	子ども	大人(紙)	合計
住んでいる地域	46	41	3	90
資格	12	9	1	22
経験	40	33	3	76
夢・目標	38	75	3	116
コレクション	28	46	2	76
思い出の品	20	35	0	55
持ち物	6	25	0	31
その他	3	27	4	34
小計(のべ)	193	291	16	500

補足:上表は「コト(もの)」の小項目ごとの“のべ件数”。同一人が複数小項目に書けば複数計上されるため、合計 500 は人単位の合計(311 人)より大きくなります。

2-2. ピックアップ(面白い／感動系・各 5 件)

◆ 面白い(5)

- BS の番組で優勝、段位 9 段。多数のテレビ出演・受賞歴。
- 会社代表でのど自慢大会 2 度出場、テレビ収録決勝 20 名に選抜。
- 語学アプリ連続 200 日超、毎日の継続が自慢。
- トミカ 50 台以上のコレクション／漫画 34 話も所有。
- ビッグサンダー・マウンテン 10 連続で乗れる胆力。

◆ 感動系(5)

- 韓国への留学挑戦(語学をさらに深めたい)。
- 挑戦を重ねて本番で実力発揮できるようになった成長ストーリー。
- 初孫と歌のイベント出演に挑戦したい(世代を超えた夢)。
- 家族旅行で違う文化を体験、親への感謝。

- 自分の夢でまちを元気に(特産品づくりや動物の治療で貢献したい)。

2-3. コト(もの)自慢のまとめ(要点)

- ボリュームが大きいのは「夢・目標(116)」と「住んでいる地域(90)」。将来志向と地域誇りが並び立つ構図。
 - 経験(76)やコレクション(76)、思い出の品(55)は、日々の積み上げや記憶の保存を誇る声。
 - 子どもでは「挑戦・継続」の語りが目立ち、自己効力感につながる痕跡が濃い。
-

③ こんなことやってます(なんでも)自慢

3-1. 件数表(小項目別・のべ件数)

大人・子どもは各設問の非空、紙は《こんなことやってます・なんでも自慢①～③》のキーワード一致で小項目に分類。分類語を含まない自由記述は「自由エピソード」として集約。

小項目	大人 (WEB)	子ども	大人(紙)	合計(のべ)
生きています！	33	0	24	57
幸せです！	45	1	8	54
健康です！	33	0	14	47
日々の活動・習慣	4	1	3	8
特技	56	2	8	66
地域活動	1	0	6	7
趣味	55	1	32	88
仕事・職業	6	0	3	9
スポーツ	93	0	15	108
文化・芸術	9	0	4	13
推し活	31	1	22	54
学業・語学	13	1	2	16
自由エピソード	25	1	13	39
小計(のべ)	404	8	154	566

補足:紙回答は自由記述中心のため、自由エピソードが大きなボリュームとなっています。必要に応じて辞書(キーワード)を拡張し、さらに細分化(例:ボランティア/学習習慣/家族時間 等)も可能です。

3-2. ピックアップ(面白い/感動系・各5件)

◆ 面白い(5)

- ・ 多数のテレビ出演・優勝、歌の段位9段で次は10段挑戦。
- ・ のど自慢大会で会社代表/テレビ決勝20名。

- duolingo 連続 200 日。
- 押しへの愛は世界一(トレカ交換も活発)。
- ディズニーで 10 連続ライド。

◆ 感動系(5)

- 9 か月育休の夫と協力子育て、「幸せすぎる毎日」。
- 農家／獣医で地域に貢献したい(笑顔と健康のために)。
- 地域の文化(音楽祭・どんど焼き)を大切に。
- 家族への感謝(学び・体験の機会をくれる)。
- 食と水にこだわる健康習慣で若さと行動力を維持。

3-3. こんなことやってます自慢のまとめ(要点)

- スポーツ(108)・趣味(88)・特技(66)・押し活(54) など、日常の実践が“自慢”として多数。子どもは特にスポーツ・特技が顕著。
 - 自由エピソードには、「家族・友人と過ごす幸福感」「毎日の継続」「地域イベント参加」など、**言葉では括れない“良い日常”**が大量に含まれている。
-

④ 全体の総括

1. “人”が核

家族(35.8%)・友人仲間(31.0%)・先生(13.4%)など、身近な人を誇れるという事実がまず最初にある。これが自己肯定感の源であり、挑戦の起点になっている。

2. “コト(もの)”で自分がふくらむ

夢・目標(116)や経験(76)、**コレクション(76)**など、自分の資産／記憶／習慣を語る記述が多い。特に子どもは「継続・挑戦」の語りが濃く、自己効力感が育っている。

3. “活動”が日常を彩る

スポーツ(108)・趣味(88)・推し活(54) など、好きなことに打ち込む姿が多い。紙の自由記述からは、家族や地域の中での幸せが日常的に重ねられていることが読み取れる。

結論:麻生区は、

「人に支えられ(ひと自慢) → 自分の資産を育て(コト自慢) → 日々の実践で花開く(活動自慢)」

という好循環が回っている“自慢が生まれるまち”。この循環をさらに太くするには、学校・地域・家庭・行政の連携で、子どもたちの挑戦機会や大人の学び直し・交流機会を増やすことが効果的です。

✓ 回答者数

区分	回答者数(人)
大人(WEB)	22
子ども	221
大人(紙)	89
イベントブース(区民祭りなど)	約200
フロンターレ・ブレイブサンダース	35
総計	567

※本まとめの作成には、生成 AI(Microsoft 365 Copilot Chat)を使用しています。